

茅ヶ崎にUDタク集合

ダッ研車いす乗降じっくり体験

茅ヶ崎にUDタクシーが大集合。都内の日産タクシーユーザーで構成するダットサン研究会(会長

阿部武ライオン交通会長)の技術委員会(委員長中澤克己互助交通社長)は6日、研修旅行で神奈川県茅ヶ崎市のオーテックジャパンを訪れた。写真。

オーテックジャパンは日産の福祉車両「ライフケアビークル」の企画・生産拠点。当日は日産NV200タクシーユニバーサルデザイン、同セレナ・チェアキヤブに加え、会員会社の協力を得て都内でタクシー車両として活躍するロンドンタクシー、トヨタ・JAPANタクシーを持ち込み日

本で走るUDタクシーの勢ぞろいが実現。阿部会長と委員合わせて16人が参加した。

さまざまなUDタクシーの良さと課題を体験してもらい、「プロ」目線の意見を交換することで今後の日



産のよりよいUDタクシー作りに役立てようと日産自動車日本フリート事業本部、オーテックジャパン、日産自動車販売の担当者らが担当した。

会場では、高齢者の不自由さを体感するエイジングスーツの一部を用意。参加者は白内障の視界を再現するグラス、ひざの不自由さを再現するプロテクターを一人ひとり装着してNV200UDに乗車。オレンジ色の手すりだけがくっきり見えることや乗車時にステップや手すりが不可欠なことなどを実感した。

セレナでは二ーリン

グについて「戻し忘れは？」などの質問も。「車高で車庫に入らないという悩みもある」との声も。車いすの横乗り込みのJPNタクシー、ロンドンタクシーも体

験し「JAPANタクシーはスロープを含め乗降の過程が複雑すぎて最後までたどり着けない気がする」。一方で「一般客と同じ席に乗車したいという声にはこ

たえられる」。ロンドンタクシーは「スロープの角度はあるが中は広い。良くできている」など、みな実際に車いすで乗降を繰り返し、固定装置を確認するなど熱

心にチェックをしていた。また、NOTEタクシーについても導入会社への調査活動やそれに基づく品質改善の取り組み、意見交換が行われた。